

大会テーマ

日本国はじまりの地から未来へ

～多様性を認め合う社会の実現を～

橿原市は、女帝・持統天皇が日本初の都「藤原京」を築き、律令を制定し、国名を「日本」と定めた地です。

古来より多くの女性たちの活躍が伝わるこの地から、多様な価値観が尊重され誰もがいきいきと自己実現できる未来へ繋いでいくことをめざします。

開催目的

ジェンダー役割からの解放とワークライフバランスの推進

雇用における差別をなくし、誰もが自分の能力を發揮でき生活と仕事の調和がとれる環境づくり（ワークライフバランス）を考え、地域や家庭でも一人ひとりがかけがえのない大切な存在として豊かで安心できる生き方を提案していきます。

産・官・学の取り組みの発信

行政と、個人、団体、企業、学校とが知恵や力を出し合い、市民参加型の会議の運営を進めることにより地域の活性化を図ります。また、次代を担う青少年たちを巻き込み、新たな視点を取り入れ、すでに男女共同参画活動に尽力している様々な団体とともに良い活動につなげ、情報発信していきます。

ダイバーシティ&インクルージョンの実現

性別や年齢、国籍、人種、宗教、障がいの有無などを問わず、多様な価値観、生き方を尊重される社会のあり方を考えていきます。家庭、学校、職場など、あらゆる場面で多様な価値観を尊重し、共感できる人を増やしていくことで一人ひとりのウェルビーイング*をめざし、男女共同参画社会の実現に向けた意識を前進させます。



日本女性会議
2025 橿原

大会シンボルマーク

会議と橿原の最初のひらがな「か」をモチーフに、女性がいきいきと社会、未来に向かって躍動している様子を表現しています。

(考案：鈴木 久)

*ウェルビーイング (Well-being) とは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。